



沖縄地区税関 管内貿易概況(速報)

令和6年7月分

(増減・伸率は対前年同月比)

●今月のポイント

●輸出

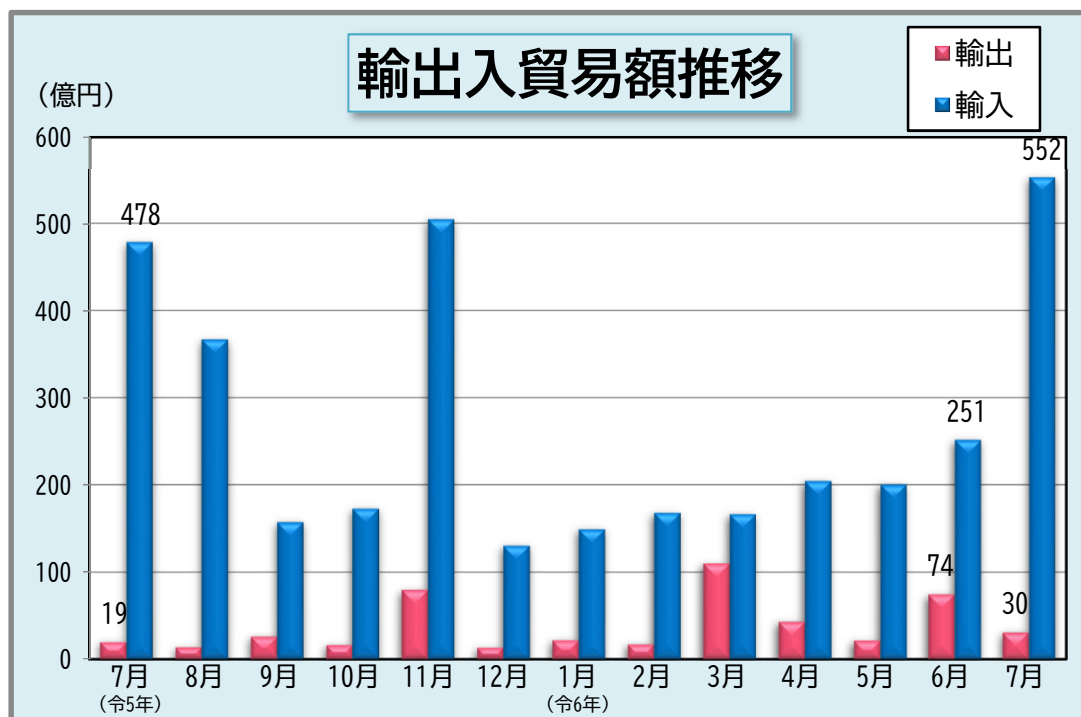
- ・輸出総額は30億42百万円、対前年同月比56.6%増(3ヵ月連続の増加)
- ・主な増加品目は「輸送用機器」(6.7倍)、「再輸出品」(3.3倍)、「一般機械」(62.3%)
(主な減少品目は「肉類及び同調製品」(▲66.3%)、「鉄鋼」(▲89.5%)、「その他の調製食料品」(▲66.7%))
- ・国(地域)別構成比は韓国(34.9%)、台湾(18.6%)、シンガポール(15.8%)、ベトナム(12.6%)、香港(4.1%)

●輸入

- ・輸入総額は552億28百万円、対前年同月比15.6%増(3ヵ月連続の増加)
- ・主な増加品目は「原油」(45.0%)、「一般機械」(3.5倍)、「石油製品」(47.5%)
(主な減少品目は「天然ガス及び製造ガス」(全減)、「石炭」(▲29.7%)、「木製品及びコルク製品(除家具)」(▲25.0%))
- ・国(地域)別構成比はサウジアラビア(55.2%)、オーストラリア(16.0%)、インドネシア(5.2%)、韓国(4.9%)、アメリカ(3.5%)

●差引

- ・差引額は521億86百万円の入超(前年同月は458億48百万円の入超)



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名（金額・伸率）		構成比	主要国（地域）（金額・伸率）
1	輸送用機器 （9億42百万円、6.7倍）	31.0%	韓国（8億88百万円、全増） アラブ首長国連邦（47百万円、21.2%）
2	金属鉱及びくず （6億19百万円、▲0.2%）	20.3%	ベトナム（3億31百万円、全増） 台湾（1億78百万円、79.9%）
3	一般機械 （4億91百万円、62.3%）	16.1%	シンガポール（1億66百万円、80.3倍） 台湾（1億22百万円、3.1倍）
4	再輸出品 （3億81百万円、3.3倍）	12.5%	シンガポール（2億58百万円、全増） 香港（34百万円、▲47.3%）
5	パルプ及び古紙 （1億96百万円、38.4%）	6.5%	台湾（1億37百万円、15.4%） インドネシア（28百万円、全増）
増加品目（増加額・伸率） 1 輸送用機器（＋8億2百万円、6.7倍） 2 再輸出品（＋2億67百万円、3.3倍） 3 一般機械（＋1億89百万円、62.3%） 主な増加国（地域） 韓国 シンガポール、オーストラリア シンガポール、台湾			
減少品目（減少額・伸率） 1 肉類及び同調製品（▲1億円、▲66.3%） 2 鉄鋼（▲75百万円、▲89.5%） 3 その他の調製食料品（▲29百万円、▲66.7%） 主な減少国（地域） シンガポール、香港 ミャンマー ベトナム			

(2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）	構成比	主要品目（金額・伸率）
1 韓国 （10億62百万円、91.7%）	34.9%	輸送用機器（8億88百万円、全増） 金属鉱及びくず（85百万円、▲82.2%）
2 台湾 （5億65百万円、22.8%）	18.6%	金属鉱及びくず（1億78百万円、79.9%） パルプ及び古紙（1億37百万円、15.4%）
3 シンガポール （4億80百万円、3.5倍）	15.8%	再輸出品（2億58百万円、全増） 一般機械（1億66百万円、80.3倍）
4 ベトナム （3億85百万円、10.6倍）	12.6%	金属鉱及びくず（3億31百万円、全増） 一般機械（44百万円、4.5倍）
5 香港 （1億26百万円、▲32.2%）	4.1%	再輸出品（34百万円、▲47.3%） 肉類及び同調製品（26百万円、▲32.1%）

(1) 主要品目別動向

増加品目（増加額・伸率）	主な増加国（地域）
1 原油（＋116億27百万円、45.0％）	オーストラリア、サウジアラビア
2 一般機械（＋9億37百万円、3.5倍）	アメリカ、中国
3 石油製品（＋7億88百万円、47.5％）	韓国
減少品目（減少額・伸率）	主な減少国（地域）
1 天然ガス及び製造ガス（▲67億57百万円、全減）	オーストラリア
2 石炭（▲18億42百万円、▲29.7％）	オーストラリア
3 木製品及びコルク製品（除家具）（▲94百万円、▲25.0％）	インドネシア、マレーシア

(2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）		構成比	主要品目（金額・伸率）
1	サウジアラビア （304億67百万円、17.9%）	55.2%	原粗油（304億67百万円、17.9%）
2	オーストラリア （88億48百万円、▲22.4%）	16.0%	原粗油（69億99百万円、全増） 石炭（15億99百万円、▲64.2%）
3	インドネシア （28億69百万円、18.4%）	5.2%	石炭（20億78百万円、19.5%） その他の動植物性原材料（5億11百万円、21.9%）
4	韓国 （26億97百万円、10.0倍）	4.9%	石油製品（24億35百万円、311.2倍） 鉄鋼（85百万円、3.5倍）
5	アメリカ （19億42百万円、2.2倍）	3.5%	一般機械（8億93百万円、15.5倍） 肉類及び同調製品（2億10百万円、52.6%）

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課
沖縄県那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎3階
TEL. 098-862-9650

